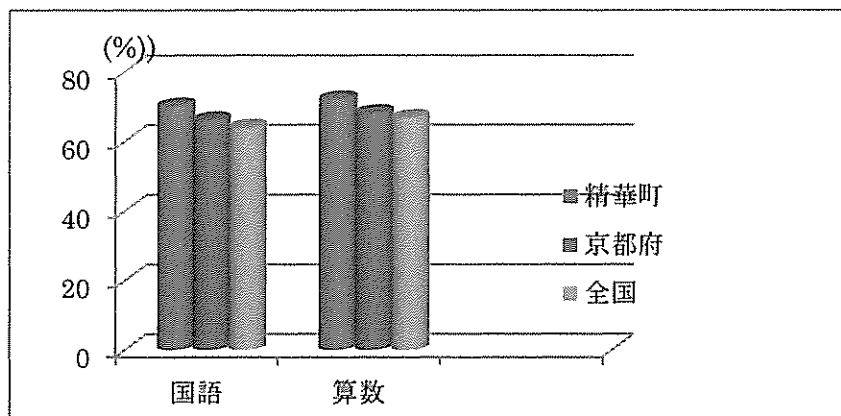


全国学力・学習状況調査の結果

(平成 31 年 4 月 18 日実施)

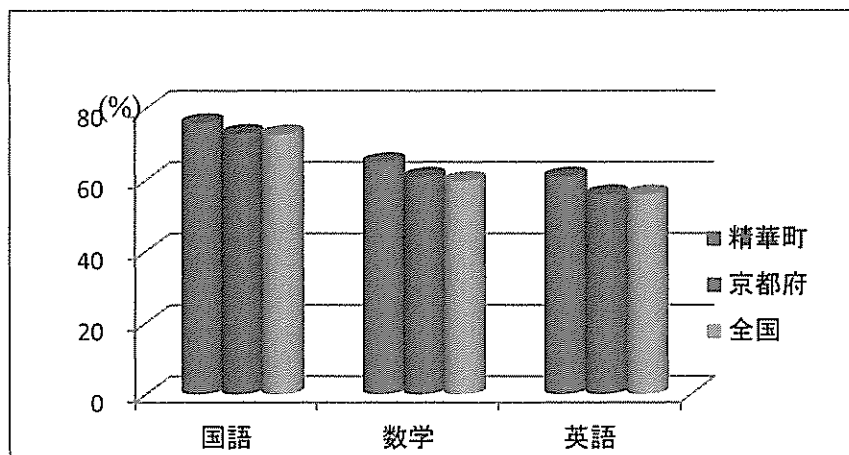
【小学 6 年生】



国語の問題では、「漢字を文の中で正しく使うこと」については全国平均より高く、また「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む」問題や、「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする」問題、そして「文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く」問題においては、特に優れていました。

算数の問題では、「示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述する」問題や、「示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式する」問題は特に優れていました。

【中学3年生】



国語の問題では、「読む・書く・話す・聞く」の学習領域でバランスよく習得できており全国を上回っています。特に「伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く」に関しては優れていました。

数学の問題では、「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」の各領域とも全国を上回る結果になりました。また、「事柄が成り立つ理由を説明することができる」等の記述式の問題においても優れていました。

英語の問題では、「読む・書く・聞く」に加え、今年度は「話す」に関して調査が実施されました。「読む・書く・聞く」の各領域とも全国を上回り、特に「書く」領域は優れ、文を正確に書くことができていました。

小6生96.9%、中3生95.8% 人の役に立ちたい！！

カテゴリー1 《学習状況について》

総合的な学習の時間において自ら課題を見つけ、情報収集をして整理し、調べたことを発表する学習活動について、全国平均と比較すると、町内児童生徒は積極的に取り組んでいることが読み取ることができました。また77.8%の小学6年生、74.7%の中学3年生が、話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると感じています。一方、「家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学6年生は、全国平均より低い結果となりました。

カテゴリー2 《学校生活について》

精華町子どもたちは「学校へ行くのが楽しいと思えますか」の質問に対し、小学6年生では90.3%、中学3年生では84.0%が肯定的な回答をしています。次に、「学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」の質問では、85%以上の児童生徒が達成感を味わっていることが読み取れました。また、80%近くの児童生徒が学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見の良さを活かして解決方法を決めていると感じていることがわかりました。

カテゴリー3 《自分自身の事について》

「自分には良いところがあると思えますか」の質問では「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した小学6年生及び中学3年生が、全国平均より若干高いことがわかりました。また、「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか」については、小学6年生で97.0%の児童が、中学3年生で94.1%の生徒が肯定的な回答をしています。また、「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると小学6年生で82.4%、中学3年生で70.3%の児童生徒が「挑戦する」と前向きな回答でした。

カテゴリー4 《規範意識について》

「学校の規則を守っていますか」の質問において、小学6年生の回答が全国平均を下回る結果となりました。次に、「いじめ」に関する質問においては、ほとんどの児童生徒が「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と判断しています。また、「人の役に立つ人間になりたいと思えますか」の質問においては、95%以上の児童生徒が肯定的な回答をしていました。

カテゴリー5 《地域社会との関わりについて》

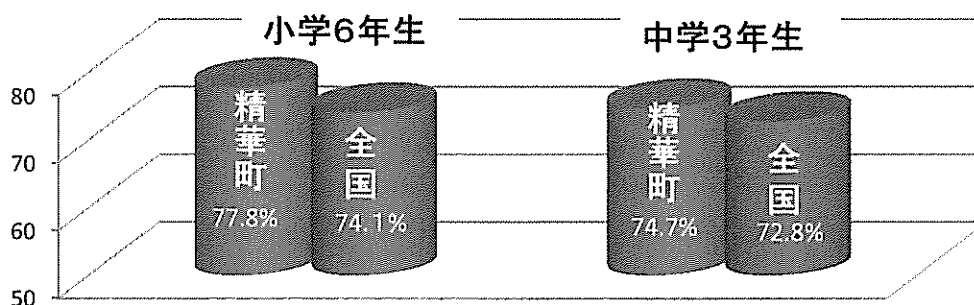
「今住んでいる地域の行事に参加していますか」の質問においては、小学6年生の回答が全国平均を上回り、積極的に参加していることがわかります。次に、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると小学6年生で59.6%に対し、中学3年生で32.4%という低い回答でした。「外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思えますか」については全国平均と同じ傾向を示す結果となりました。

カテゴリー6 《家庭生活について》

朝食については、小学6年生及び中学3年生ともにほぼ毎日食べて登校していることがわかりました。また、「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」の質問では、小中学生とも全国平均と同じ傾向を示す結果となっています。次に、「家の人と学校での出来事について話をしますか」の質問では、小学6年生で81.3%、中学3年生で76.6%の児童生徒が肯定的な回答をしています。

◆◆◆質問紙調査の結果より、特徴的な状況として◆◆◆

【質問】児童・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思えますか



児童生徒の質問紙調査の中で、「児童・生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思えますか」の質問において、小学6年生で77.8%の児童が、中学3年生で74.7%の生徒が肯定的な回答をしています。新学習指導要領が示す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業を今後も積極的に進めてまいります。